

Z

ADULT
COMICS

瑠璃堂草子

～捕まえたらフルボッコだ!～

Z



Z

Z

いつもの余裕のある笑顔はどこへやら…
たわわなおっぱいに手を当てながら、
涙を浮かべつつ不安そうにこちらを見つめるグレンダさん。

たった今、私はその股間に怒張したペニスを激しく
出入りをさせることで彼女を心身ともに犯し抜き、
最後は根元までしっかりと突き入れ、その一番奥に
鎮座する子宮に精子が一粒残らず届くような
激しい勢いで膣内射精をしてしまったところだ。

私は明日の朝陽を無事に
拝むことができるだろうか…？

「ああの…博士さん…
な、中に…出されたんですが…」

熱い熱い夏の空気で開放的になったのか
セクシーな水着姿のグレンダさんは
積極的にその体を私と重ね、貪るように快感を味わった。

そして、私が彼女の責めに耐え切れず、
たまらずその膣内に注ぎこんでしまった精液の温度を
彼女は存分に膣壁全体で感じながら、
いやらしく蕩けた笑みを私に向けて浮かべた。

私は彼女の大きなお尻をしっかりと掴みながら
ただただ快感に打ち震えるばかりで、
一切答えることができなかった…。



「あ…あはっ…♪
びゅるびゅるって…はああ…熱いの…
出てますねっ…オチンチン…もう
我慢できませんでしたか?」

そう言う自分もさっきまでは
私の下で雌の顔をして激しく乱れていたけれど、
グレンダさんはあきれられるような口調で呟いた。
その剥き出しになった股間からは、私が注ぎ込み続けた子種が
膣のキャパシタンスを越えて、淫靡な音を立てて逆流し続けている…。

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

「もうっ、博士さんったら…
底なしにも程がありますよ…?」

とてもやんごとなき家のお嬢様が発したとは思えない、苦しそうなうめき声を上げ続けるゲツちゃんの幼い女性器に彼は遠慮や労りという言葉をどこかに置き忘れてきたかのごとく、暴力的な膣内への射精をためらいなく行った。

「びぎん……いっ……痛ッ……」

「わ……やっ……ぬい……抜いてスッ……」

恐怖に引きつりながら泣きじゃくる彼女の声は当然彼には届かない。なぜなら今日の彼は本気だから。一匹の雄として、本気で彼女を孕ませるつもりだから。

ライガ様は放心状態で、先ほどまで怒涛のように自らの体に押し寄せてきた生まれはじめの快感の余韻にただただ浸っていた。

感動を覚えつつ、彼女は純潔を失ったばかりの自らの股間のひだを指で広げると、注ぎこまれたての煮えたぎるような熱さのどろどろの体液が、緩やかにあふれ出るのを肌で感じた…。

これが…これが殿方との子作り…
なんて激しく…なんて情熱的なんぞじゃあ…
…

ああ…私も父母のこのような行為の末に…生を受けたのですね…

「うちな…うち…夕方は素振り一万回して…
土手をランニングして…ゲツちゃん
とライガ様と3人でアイス食べながら
家に帰るんが楽しみなんよ…」

光の消えた、焦点のあっていない目で
どこかを見つめながら、うわごとのように
何かをつぶやき、笑うポンちゃん。

彼女は自分が今、その身に受けた
非情な現実から逃避しているかのようにだった。

小さなその体を欲望のままに
犯し、汚し、辱め、心を踏みにじった俺は
ずるり…とその股間から
つながったまま果てたペニスを引き抜く。

お互いの体液と血が交じり合った、
わけのわからないどろろとした物が、
彼女の幼い股間を淫らに彩り、濡らしていた。

ぬちゃ…

夜も遅く、人も通らない公園の草むらの中で、
小刻みに汚らしい裸体を揺らしていた太った中年男が
低く呻いた。

蹲ったその脂ぎった醜い体の下にはよく見ると、
何か白くて小さい『もの』があるのがわかる。

それを組み伏せたままピクン…ピクンと震え続けた男は、
やがてぐったりと力尽きたが…その顔には満足そうに
下卑た笑顔を浮かべていた。

……やがて、白くても白くても小さい『もの』は
よるよると男の体の下から抜け出そうとしたが
…その足を男が掴む。

恐怖の表情を浮かべながら振り返った
『タフラスM2』の幼い股間から、どろり…と
滴り落ちる、注がれたばかりの汚らわしい体液が
夜の闇を割いた月光に鈍く照らされていた。

「うっ…!!」

…こういう事は、天井のしみを数えていけば
気がついたら終わると聞いたことはありますが
このホテルの天井はとても綺麗で、
しみひとつありませんでした。

これもあの子達の生活のためと
やむなく選んだ仕事ですけど…
時々最初にお願ひした
約束を勝手に破る
酷い人がいます…。

でも、そういう場合『上乘せ』することは
できるから、かえって得かもしれないが…
きよ、今日はもしかしたら…危ないかも…

あ…あらっ…？ そんな…根元いっぱいまで
挿れて、奥のほうで…そんなに…あ、あっ…たくさん…。

(ひやつ!?!…あ…あ…
出てるっ…中は絶対に
いけませんよって言ったのに…)



この度は『瑠璃堂草子～捕まえたらフルボッコだ!』を
お買い上げ頂きましてまことにありがとうございました!

今回は2016年6月、蒲田にて初のロボガオンリー開催と聞いて
これはぜひとも出たくなってしまい、
急遽申し込んでやさぐれ本を作ることになりました。
オンリーってばクイーンズブレイド以来ですね。

いつもの画報おまけ本プラス的なうすーい本でございますが
どうせなら「ラノベのカラーページにありそうな文章つきの1ページ」
みたいなのにしてみようと思い、こういう形になりました。
全ページあますことなくひたすら種付けにいそしんでみましたが、
グレンダさん3枚描くならチームZ入れろやとも思いました。

またオンリーあってタイミングあえば、同じような感じで参加したく思います。
そのときはまたよろしくお願いいたします。

夏コミも3日目ネ-38a『U・A大作戦』で無事とれてますので、
それではまたそちらでお会いしましょう、ではでは!

by 原田将太郎 

mail: harashou@netlaputa.ne.jp

HP: http://www.netlaputa.ne.jp/~harashou/

twitter: http://twitter.com/harashou_LLcorp

mixi: 677545 / pixiv: 22937

禁無断転載等海賊行為

本誌の無断転載・無断複製・海賊版行為・インターネットへのアップロード
共有ソフトでの配布及び閲覧&ダウンロード等は一切禁止です

瑠璃堂草子

～捕まえたらフルボッコだ!～

2016.6.26 サンライズクリエイション in Pio

ロボガオンリー即売会『フルボッコフェスティバル』初版発行

発行人: 原田将太郎

発行: U・A大作戦/LapisLazuli=corporation

印刷: (株) 緑陽社

<連絡先>

E-mail: harashou@netlaputa.ne.jp

HP: http://www.netlaputa.ne.jp/~harashou

『瑠璃堂画報-電気式-』

twitter: http://twitter.com/harashou_LLcorp

mixi: 677545/pixiv: 22937

Z

瑠璃堂草子

Z



2016 SPRING L.L.CORP PRESENTS



Z

Z